INFORMATION

●開館時間　9：00〜17：15（入館は16：45まで）

●休館日　原則として，月曜日，祝日，年末年始（12月28日〜1月4日）

◆プラネタリウム臨時休演　2月7日(火)，8日(水)，2月28日(火)〜3月2日(木)

◆全天周映画臨時休演　2月7日(火)，8日(水)

●入場料

区分／金額		個人	団体（20人以上）
展示室	おとな	400円	320円
	こども（小・中学生，高校生）	100円	80円
プラネタリウム	おとな	400円	320円
	こども（小・中学生，高校生）	200円	160円
全天周映画	おとな	400円	320円
	こども（小・中学生，高校生）	200円	160円
プラネタリウム＋全天周映画	おとな	600円	480円
	こども（小・中学生，高校生）	300円	240円

【宇宙劇場】

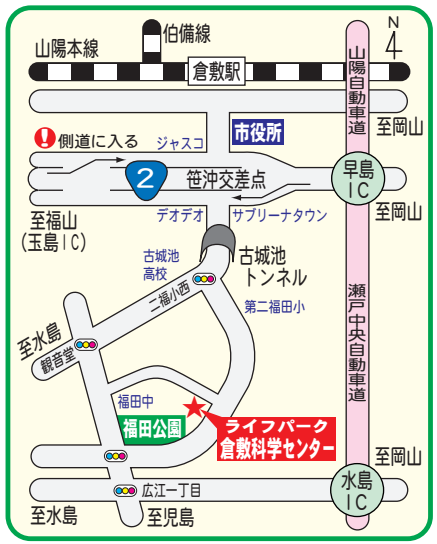
ドーム直径21m，床傾斜25度，210座席。プラネタリウムと全天周映画の設備を併せ持つ，中国地方でも最大級の科学シアターです。

●宇宙劇場投映開始時刻

曜日／時刻	10：00	11：10	12：20	13：30	14：40	15：50
火〜金	学習投映（団体予約優先）	学習投映（団体予約優先）		学習投映（団体予約優先）	全天周映画	プラネタリウム
土・日 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

◆定員210名，各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。

◆学習投映は（学校）団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は，あらかじめお電話にてご予約ください。



ACCESS

◆ＪＲ倉敷駅からタクシー　20分

◆ＪＲ倉敷駅からバス　25分

○下電バス

・『市役所・古城池経由ＪＲ児島駅行』
　ライフパーク倉敷入口下車

・『大高経由ＪＲ児島駅行』
　福田中学校前下車（※徒歩15分）

◆国道２号線　笹沖交差点から車で15分
（古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折）

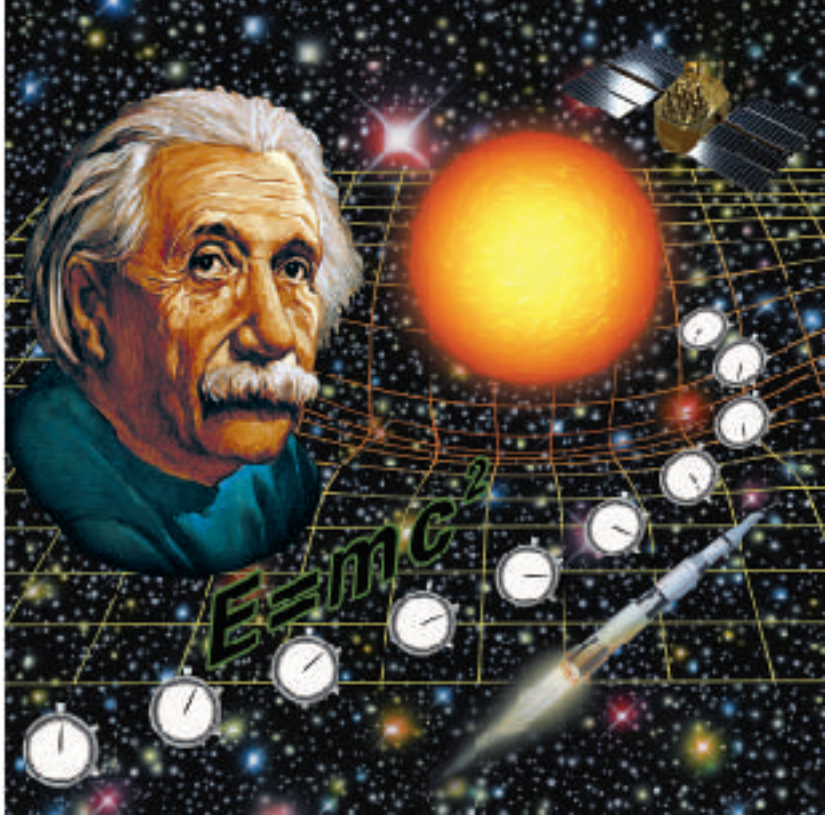
◆瀬戸中央自動車道　水島ＩＣから車で10分
（広江一丁目交差点を右折後，最初の信号を右折）

倉敷科学センター

〒712-8046　倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内

TEL（086）454-0300／FAX（086）454-0305

http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/



宇宙劇場 ★ プラネタリウム

PLANETARIUM

投映の話題（今夜の星空解説含む）

光（ひかり）を追（お）いかけて

〜アインシュタインの宇宙（うちゅう）〜

VOL.39　2005. 11. 4 〜 2006. 2. 26

KURASHIKI SCIENCE CENTER
倉敷科学センター

■ プラネタリウム （一般投映／所要時間：約50分）

今回のテーマ

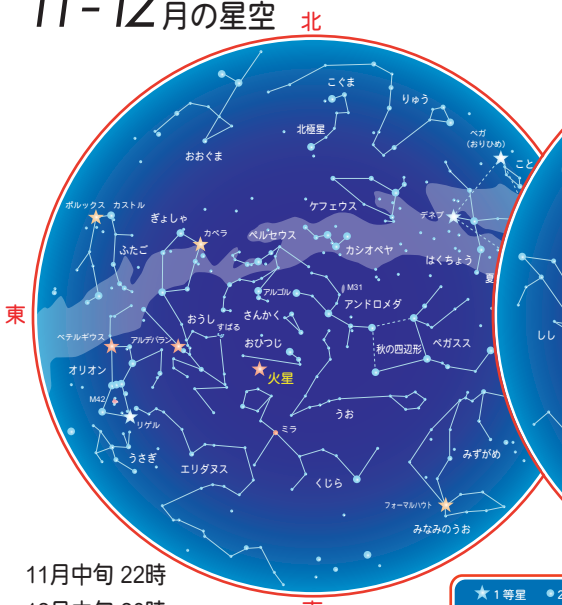
「今夜の星空」の解説

天文学の専門家による星空生解説。その日に見える星空をご紹介したいので，台本は一切なし。星空に合わせて話題も毎日変わります。

星座のさがし方から，おすすめ天文現象まで，ドームの下での星空散歩をお楽しみください。

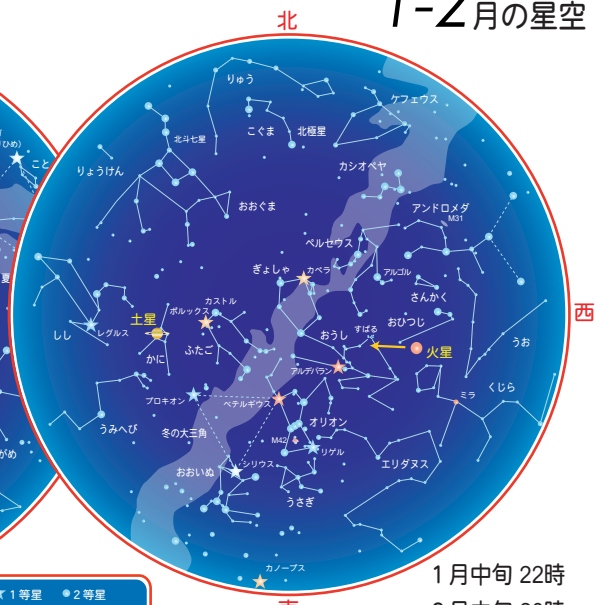
プラネタリウムの解説台より

11-12月の星空



11月中旬 22時
12月中旬 20時

1-2月の星空



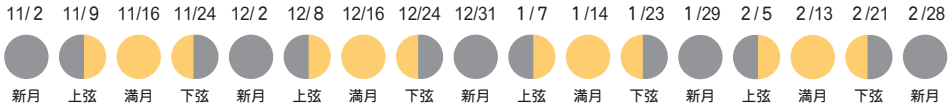
1月中旬 22時
2月中旬 20時

★1等星 ●2等星 ・3等星 ・4等星以下

■ 観測ガイド

12月 9日 ＝ 金星が最大光度。（−4.7等，金星が昼間の青空でも見える）
12月14日明け方 ＝ ふたご座流星群が極大。満月直前のため条件は良くない。
1月 4日明け方 ＝ しぶんぎ座流星群が極大。条件最良。
2月 1日ごろ ＝ 土星がかに座のプレセペ星団に接近。
2月 6日 ＝ 月がおうし座のプレアデス星団（すばる）に接近。

■ 月の満ち欠け



光を追いかけて ～アインシュタインの宇宙～

上映期間／11月4日(金)～2月26日(日)

光の速さで光を追いかけたら，光は止まって見えるのだろうか？素朴な疑問を抱いた少年の名は，アルバート・アインシュタイン。

時間が遅くなる！空間がゆがむ！後に“奇跡”と呼ばれる新時代の物理理論は，この発想からスタートしました。

世界に衝撃を与えた“相対性理論”の発表から100年。天才物理学者アインシュタインの世界に迫ります。

画像提供： 杉元 賢治（近畿大学 教授）
映像提供： 唐崎 健嗣（星遊軍）
声の出演： 石森 達幸（アーツビジョン）
相田さやか（アーツビジョン）
丸尾 知子（青二プロダクション）
萩 道彦（アーツビジョン）
脚 本 ： 石井 元巳（倉敷科学センター）
コーディネート： 宇都宮 聡
（株式会社 五藤光学研究所）

福岡での講演にのぞむアインシュタイン

アインシュタイン来日（1922年）

アインシュタインは1921年度のノーベル物理学賞を受賞しましたが，その知らせを受け取ったのは日本へ向かう船上でした。1922年（大正11年），アインシュタインは出版社の招きを受け，日本に43日間滞在し，各地を講演して回りました。アインシュタインは船上から瀬戸内海をながめながら，「私は相対性原理を考えるのに７年間を要したが，そのおかげで，こうした美しい見知らぬ国々の自然を見てまわることができる」と語ったそうです。

次回のプラネタリウム新番組は 3/3(金) よりスタートです。